



第63回
栃木県公衆衛生学会抄録集

令和7（2025）年9月3日（水）

栃木県総合文化センター

栃木県公衆衛生協会

栃 木 県

趣 旨

快適で良好な環境のもとで、生涯に渡って健やかな生活を送ることは、すべての県民の願いです。

しかし、医学の進歩、公衆衛生及び生活水準の向上にもかかわらず、健康を阻害する課題は依然として多く、適切な解決が必要とされています。

そこで、県内の公衆衛生関係者が、健康及び環境問題に対する認識を更に深め、問題解決への意欲を新たにするとともに、関係者の資質の向上と県民の公衆衛生、環境保全に対する関心を高めるため、公衆衛生大会及び公衆衛生学会を開催します。

また、救急医療及び救急業務に対する県民の正しい理解と認識を深め、かつ、救急医療関係者の意識の高揚を図るため、救急医療週間記念大会をあわせて開催するものです。

第 6 5 回 栃 木 県 公 衆 衛 生 大 会
第 6 3 回 栃 木 県 公 衆 衛 生 学 会
令 和 7 (2 0 2 5) 年 度 救 急 医 療 週 間 記 念 大 会

プ ロ グ ラ ム

I 公衆衛生大会・公衆衛生学会・救急医療週間記念大会式典

- 1 開 会 (1 1 : 0 0)
- 2 式 辞 大会長 栃木県知事 福田 富一
- 3 挨拶 学会長 栃木県公衆衛生協会会長 小沼 一郎
(栃木県医師会会長)
- 4 表 彰 保健衛生事業功労者 知事表彰
〃 大会長表彰
救急医療功労者 知事表彰
公衆衛生学会発表優秀者 学会長表彰
- 5 来賓祝辞
- 6 受賞者代表挨拶
(休 憩) (1 1 : 3 0)
- 7 記念講演 (1 3 : 0 0)
「2040年を見据えた地域づくり
～人口減少に直面する中、公衆衛生上で取り組むべきこととは～」
講師／浜松医科大学 健康社会医学講座 教授
尾島 俊之 氏
- 8 閉 会 (1 4 : 1 5)

Ⅱ 公衆衛生学会

1 口演発表

(14:30)

- ① 第1会場 (栃木県総合文化センター第1会議室)
演題区分 感染症、その他
座長 中村 剛史 (栃木県西健康福祉センター所長)
" 春山 康夫 (獨協医科大学教授)
- ② 第2会場 (栃木県総合文化センター第3会議室)
演題区分 親子保健・学校保健、医療制度・医療政策、精神保健福祉、
生活習慣病・メタボリックシンドローム
座長 片山 辰郎 (一般社団法人栃木県医師会副会長)
" 工藤 香織 (栃木県安足健康福祉センター所長)
- ③ 第3会場 (栃木県総合文化センター第4会議室)
演題区分 保健所・衛生行政・地域保健、食品衛生・薬事衛生、環境保健、
その他
座長 永井 伴幸 (参事兼栃木県保健環境センター所長)
" 小島 敏 (参事兼医薬・生活衛生課長)
- ④ 第4会場 (栃木県総合文化センター音楽練習室)
演題区分 疫学・保健医療情報、生活習慣病・メタボリックシンドローム、
感染症、ヘルスプロモーション
座長 佐田 尚宏 (一般社団法人栃木県医師会常任理事)
" 阿江 竜介 (自治医科大学教授)

※会場は変更することがあります。

2 口演終了

(16:30)

第63回栃木県公衆衛生学会演題(会場別)

No.欄に○印がついている演題は誌上発表

第1会場 (感染症、その他)

No.1～No.4 座長 中村 剛史 (栃木県県西健康福祉センター所長)

No.5～No.7 座長 春山 康夫 (獨協医科大学教授)

No.	演題	発表者名	発表者所属	区分	頁	予定時刻
1	栃木県における急性呼吸器感染症サーベイランスの検査体制と病原体検出状況について	赤松 玲子	栃木県保健環境センター	感染症	10	14:35
2	栃木県内で検出されたSARS-CoV-2の分子疫学解析と抗体保有状況	江原 栞	栃木県保健環境センター	感染症	13	14:45
3	栃木県内で検出された胃腸炎ウイルスの分子疫学解析 (2009/2010～2024/2025シーズン)	齋藤 明日美	栃木県保健環境センター	感染症	16	14:55
4	栃木県におけるインフルエンザウイルスの検出状況	若林 勇輝	栃木県保健環境センター	感染症	19	15:05 15:15
5	外国出生者の結核対策における監理団体への取り組みについて	新江 菜苗	栃木県県南健康福祉センター	感染症	22	15:20
6	デジタル広告やリーフレットによる梅毒の普及啓発に関する考察	奥山 啓子	栃木県感染症対策課	感染症	25	15:30
7	栃木県県南保健所管内の高齢者施設を対象とした感染症研修会の成果と課題	中野 真希	栃木県県南健康福祉センター	感染症	28	15:40
⑧	避難行動支援に関する各市町の取組についての実態調査	稲葉 陽子	栃木県保健福祉課	その他	31	

第2会場（親子保健・学校保健、医療制度・医療政策、精神保健福祉、生活習慣病・メタボリックシンドローム）

No.1～No.4 座長 片山 辰郎（一般社団法人栃木県医師会副会長）

No.5～No.7 座長 工藤 香織（栃木県安足健康福祉センター所長）

No.	演題	発表者名	発表者所属	区分	頁	予定時刻
1	都道府県別にみた死因別小児死亡率の地域間格差に関する研究	國吉 保孝	国際医療福祉大学	親子保健・学校保健	34	14:35
2	栃木県における特定健診・特定保健指導の医療費適正化効果の分析	木村 貴美恵	栃木県国保医療課	医療制度・医療政策	36	14:45
3	栃木県内精神科病院における栄養食事指導調査～年齢・経年別比較から分かったこと～	樋口 福也	栃木県立岡本台病院	精神保健福祉	39	14:55
4	摂食障害支援拠点病院としての初年度の取り組み～地域とともに支える体制づくりを目指して～	田崎 香澄	獨協医科大学病院	精神保健福祉	42	15:05 15:15
5	精神科救急情報センター「精神医療救急調整電話」の実態と課題	石田 恵理	栃木県精神保健福祉センター	精神保健福祉	45	15:20
6	栃木県精神保健アウトリーチ事業～事業開始から3年間の報告～	水沼 健太	栃木県精神保健福祉センター	精神保健福祉	48	15:30
7	県北健康福祉センター管内の自立支援医療（精神通院医療）受給者の推移について	近藤 千陽	栃木県県北健康福祉センター	精神保健福祉	51	15:40
⑧	真岡市民の肥満と耐糖能異常の保有状態について～効果的な事業展開を検討するために～	安田 美佳子	真岡市健康増進課	生活習慣病・メタボリックシンドローム	54	

第3会場（保健所・衛生行政・地域保健、食品衛生・薬事衛生、環境保健、その他）

No.1～No.4 座長 永井 伴幸（参事兼栃木県保健環境センター所長）

No.5～No.7 座長 小島 敏（参事兼栃木県医薬・生活衛生課長）

No.	演題	発表者名	発表者所属	区分	頁	予定時刻
1	伴侶動物の重症熱性血小板減少症候群ウイルス感染状況調査	佐藤 真紀子	宇都宮市衛生環境試験所	保健所・衛生行政・地域保健	57	14:35
2	管内観光地で発生したカンピロバクター食中毒における観光地全体への衛生管理指導事例について	大里 香織	栃木県県南健康福祉センター	食品衛生・薬事衛生	60	14:45
3	アラビアゴムが糖衣錠の品質に及ぼす影響	生田 好成	シミックCMO株式会社 足利工場	その他	63	14:55
4	化粧品GMPにおける新たな教育方法の取り組み	串原 誠樹	株式会社シーボン 生産センター	その他	65	15:05 15:15
5	LC-MS/MSによる農産物中残留農薬の検査項目拡大の検討	菅谷 京子	栃木県保健環境センター	食品衛生・薬事衛生	66	15:20
6	災害発生時の毒物及び劇物取扱施設の被災状況等確認体制整備に係る実態調査について	伊藤 紬	栃木県県北健康福祉センター	食品衛生・薬事衛生	69	15:30
7	過去20年間の簡易専用水道検査結果に基づく貯水槽の劣化傾向と耐用年数についての考察	田邊 大輔	栃木県保健衛生事業団	環境保健	71	15:40
⑧	興和株式会社における電子システム社内開発事例	坂本 宗一郎	興和株式会社 真岡工場	その他	74	

第4会場（疫学・保健医療情報、生活習慣病・メタボリックシンドローム、感染症、ヘルスプロモーション）

No.1～No.3 座長 佐田 尚宏（一般社団法人栃木県医師会常任理事）

No.4～No.6 座長 阿江 竜介（自治医科大学教授）

No.	タイトル	発表者	所属	区分	頁	予定時刻
1	県内の接骨院・整骨院を受診した下肢疼痛患者に関する調査	瀬端 邦章	栃木県柔道整復師会	疫学・保健医療情報	78	14:35
2	栃木県における医療費等の状況についての考察	田中 伸穂	栃木県保険者協議会	生活習慣病・メタボリックシンドローム	81	14:45
3	当施設における胃X線検査カテゴリー分類の精度調査	町田 彩貴	栃木県保健衛生事業団	生活習慣病・メタボリックシンドローム	84	14:55 15:05
4	脳卒中発症登録生命予後追跡調査(第一報)	菊池 佑美	栃木県保健環境センター	生活習慣病・メタボリックシンドローム	86	15:10
5	がん登録を活用した栃木県におけるがん罹患数及び死亡数の将来推計と今後のがん対策について	橋本 昂浩	栃木県健康増進課	生活習慣病・メタボリックシンドローム	89	15:20
6	世界エイズデー特例検査の普及啓発活動について	伊藤 翔子	栃木県県南健康福祉センター	感染症	92	15:30
⑦	高齢化集落での多職種アウトリーチによる地域把握と健診受診勧奨の効果について	佐久間 浩美	日光市役所健康課	ヘルスプロモーション	95	
⑧	生活習慣病の発症とその予防に関する生活習慣及び健康維持への意識に関する調査	高石 雅樹	国際医療福祉大学	ヘルスプロモーション	98	

注 意 事 項

1 発表される方へ

- ① 発表の順序及び発表者の変更は、原則として認めません。
- ② 「次演者席」が設けてありますので、あなたの前の発表が始まると同時に「次演者席」に着席してください。
- ③ 発表時間は8分以内です。質疑討論時間は2分以内です。
- ④ 時間の経過はベルでお知らせします。
(7分経過：ベル1回 8分経過：ベル2回 10分経過：ベル3回)
- ⑤ パソコン等の機器操作は、発表者側で行ってください。

2 質疑される方へ

- ① 発表に関する質問、意見を述べる時は、必ず座長に従ってください。
- ② 質疑討論は一括して行う時もあります。
- ③ 発言する場合は、所属・氏名を述べてください。
- ④ 質疑討論時間は、1題につき2分以内です。

3 御参加の皆様へ

- ① 携帯電話は、電源を切るかマナーモードにする等、音が出ない状態にしておいてください。
- ② 会場敷地内は禁煙となっております。